

日本経済の現状と展望： 地震・津波・原発事故を超えて

2011年8月19日

先生のための「夏休み経済教室」

同志社大学政策学部教授

林 敏彦

林 敏彦略歴

- 1943年生まれ
- 京都大学卒業・大阪大学修了・スタンフォード大学Ph.D.
- 神戸商科大学、大阪大学、放送大学を経て同志社大学政策学部教授。専門は経済政策。
- 1995年～2005年兵庫県の復興政策に関わる。
- 2006年以降 ひょうご震災記念21世紀研究機構研究統括
- 震災復興関係の著作：
林敏彦編集長『復旧・復興』災害対策全書第3巻2011年6月刊
林敏彦著『大災害の経済学』PHP新書2011年8月11日刊
他に雑誌、新聞論稿多数

林 敏彦『大災害の経済学』
PHP新書、2011年8月12日
刊



序にかえて デジャ・ヴュ

第1章 災害大国日本

第2章 緊急事態法制

第3章 日本の政治指導力

第4章 震災復興基金

第5章 アメリカの政治指導力

第6章 国土安全保障省とハリケーン・カ
トリーナ

第7章 阪神・淡路大震災

第8章 経済復興の10年

第9章 災害復興計画

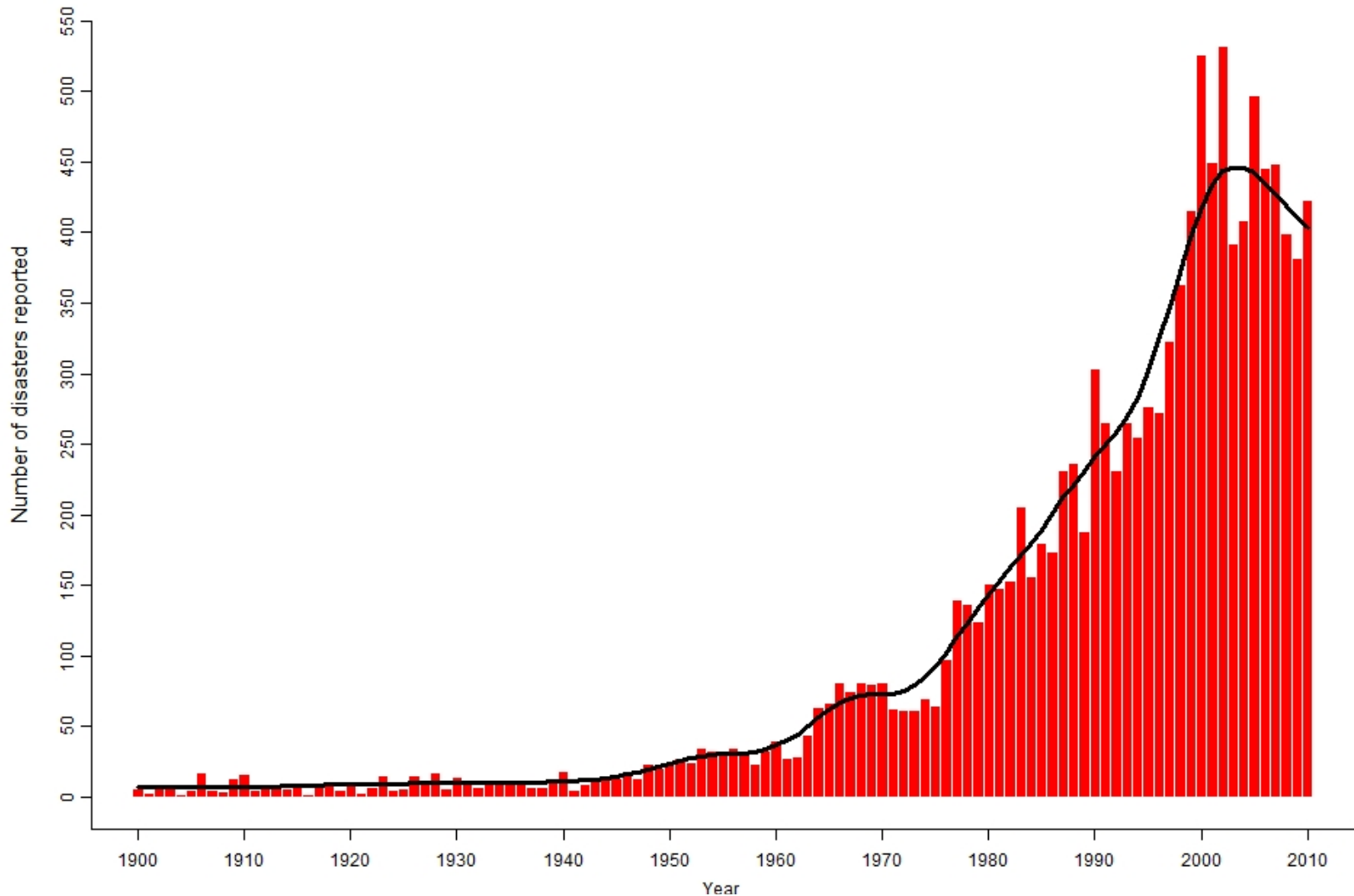
第10章 まぼろしの免税島構想

第11章 経済被害と災害復興

第12章 東日本大震災からの復興に向
けて

おわりに

自然災害報告件数 1900-2010年



データ: EM-DAT

これまでの大災害の被害

| | 死者・行方不明者 | 直接被害額 (前年度GDP比) | 直接被害額 (一般会計比) |
|---------------------|----------------------|--------------------|------------------|
| 関東大震災 (1923年) | 105,000人 | 55億円 (35.3%) | 385% |
| 福井地震 (1948年) | 3,769人 | 107.5億円 (0.8%) | 5.0% |
| 伊勢湾台風 (1959年) | 5,098人 | 5,512億円 (4.6%) | 41.40% |
| 阪神・淡路大震災 (1995年) | 6,437人 | 9.9兆円 (2.1%) | 13.50% |
| 東日本大震災* (2011年) | 20,425人 (8月11日現在) | 32兆円 (6.4%) | 36.20% |

* 福島原発事故による被害は含まない。
赤字は筆者の推定

阪神・淡路と東日本

| | 阪神・淡路 | 東日本 |
|----------|------------------|-------------------|
| 日付 | 1995年1月17日 5時46分 | 2011年3月11日 14時46分 |
| マグニチュード | 7.3 | 9.0 |
| 被災地 | 都市部が中心 | 農林水産地域が中心 |
| 津波 | 被害無し | 高さ8.0m-9.3m 被害甚大 |
| 原発被害 | 無し | 福島第一原発 間接被害甚大 |
| 被害状況 | 建物の倒壊と火災被害 | 沿岸部が津波による 大被害 |
| 死者・行方不明者 | 6,437人 80%が圧死 | 20,513人 80%が溺死 |
| 全壊住戸 | 104,906戸 | 112,002戸 |
| 直接経済被害 | 9.9 兆円 | 32兆円 |

赤字は林の推定

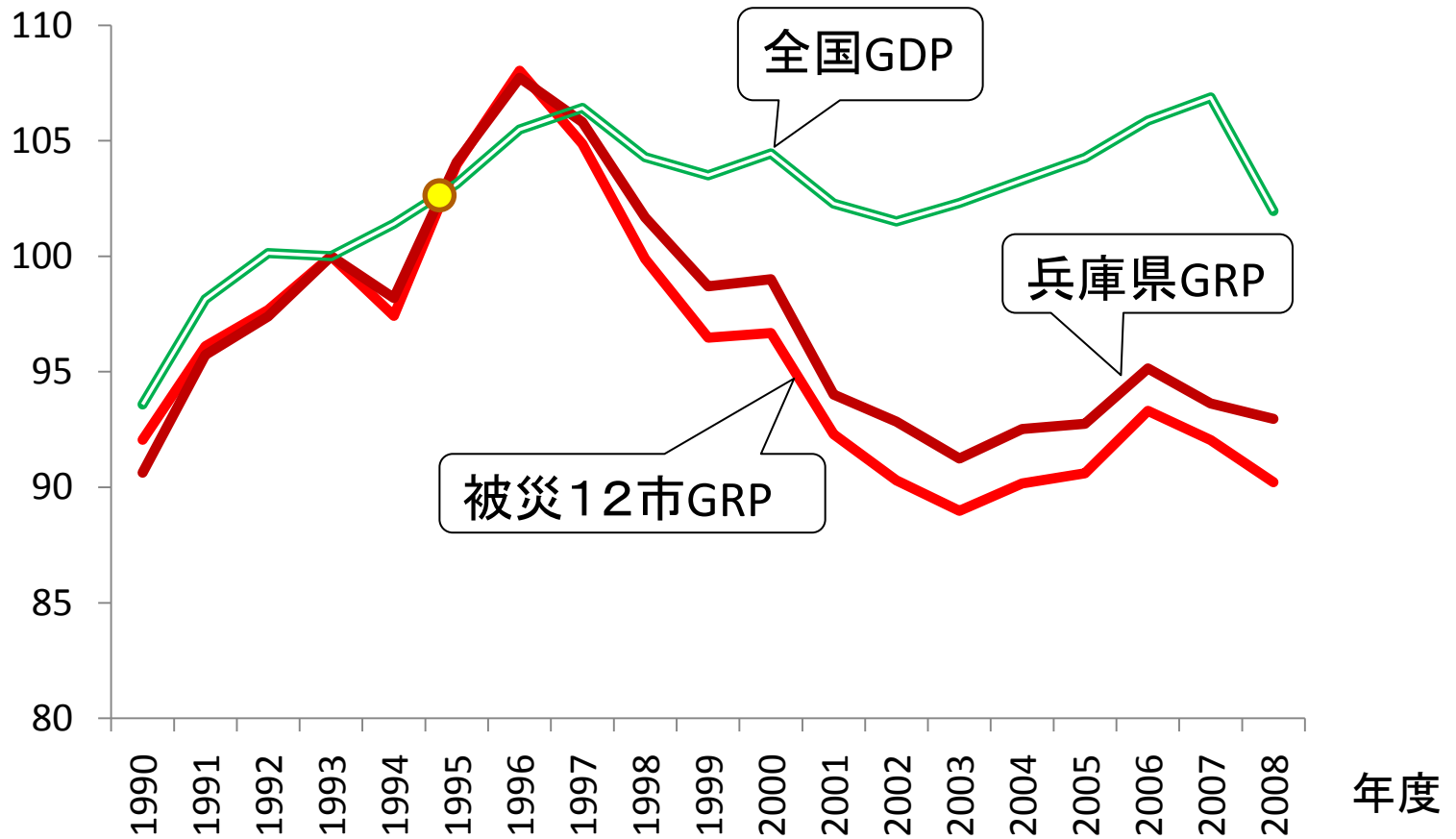
直接被害額の比較

| 項目 | 阪神・淡路大震災 | 東日本大震災 |
|----------|-----------|------------|
| 建築物等 | 5兆8,000億円 | 10兆4,000億円 |
| ライフライン施設 | 5,943億円 | 1兆3,000億円 |
| 社会基盤施設 | 2兆2,715億円 | 2兆2,000億円 |
| 農林水産関係 | 1,181億円 | 1兆9,000億円 |
| その他公共施設 | 5,127億円 | 1兆1,000億円 |
| 商工関係 | 6,300億円 | |
| 合計 | 9兆9,268億円 | 16兆9,000億円 |

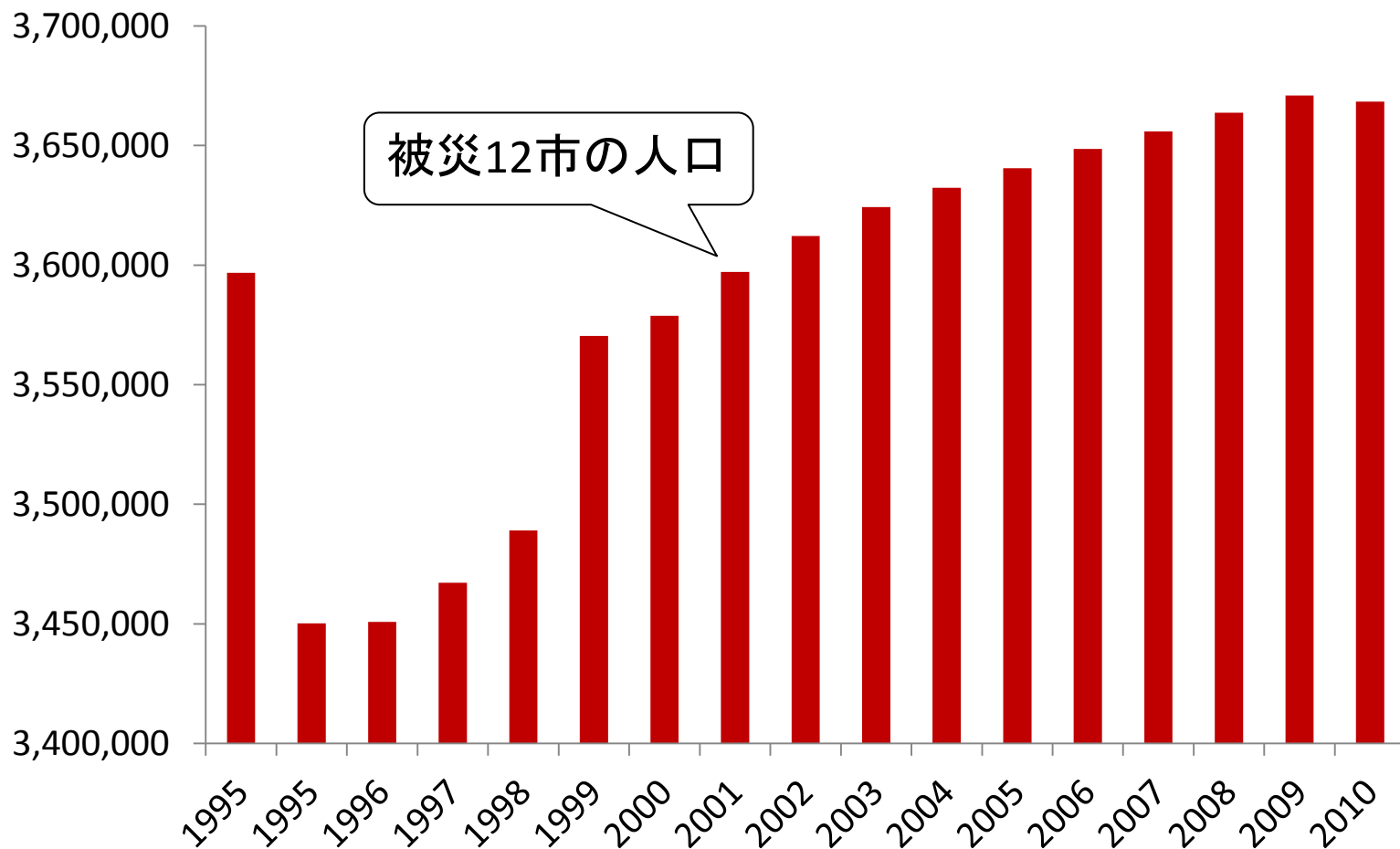
注) 阪神・淡路大震災は兵庫県データ

東日本大震災は内閣府緊急災害対策本部2011年8月9日発表データ
福島原発事故による被害は含まない

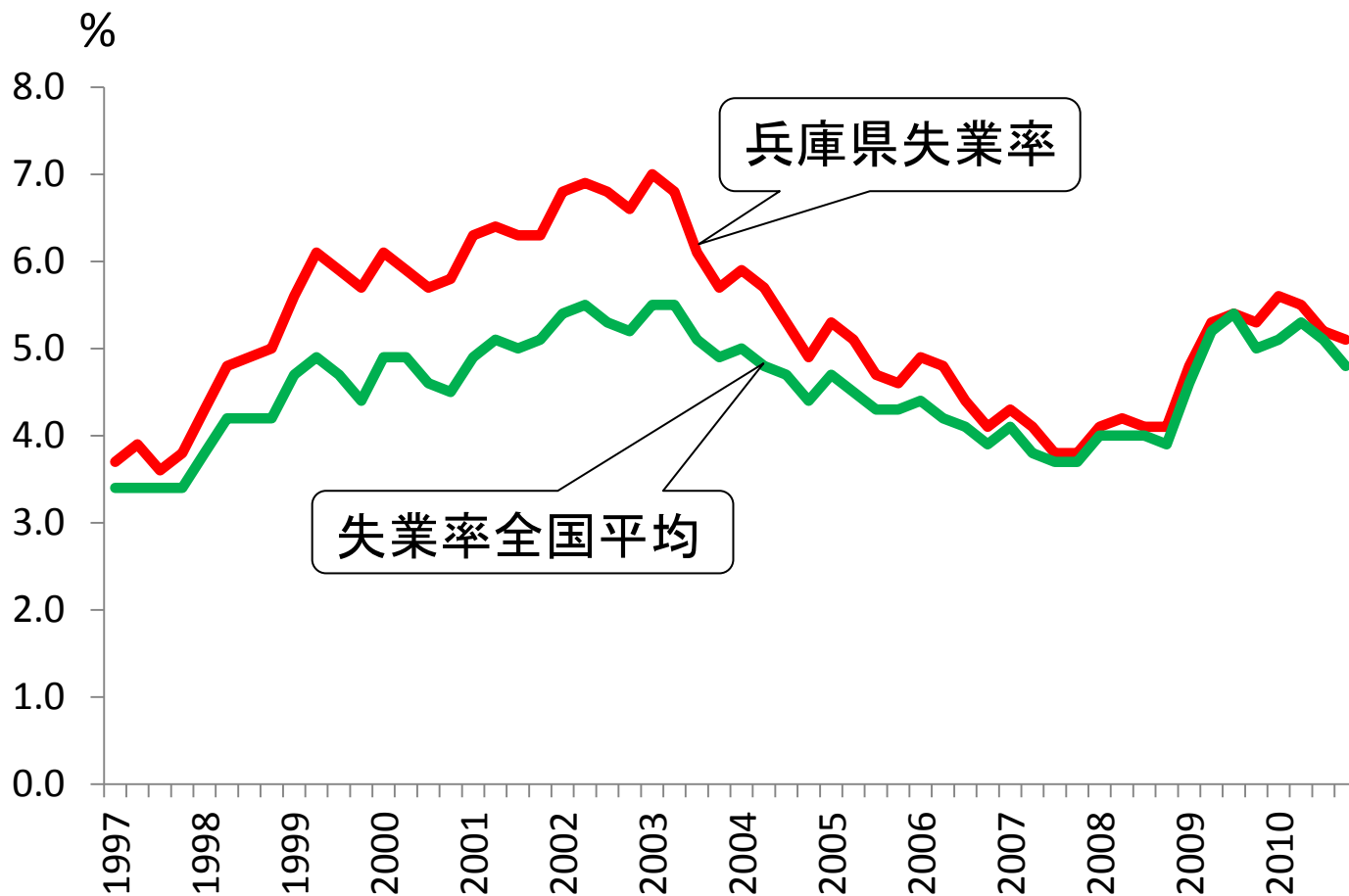
ポスト阪神・淡路のGRP



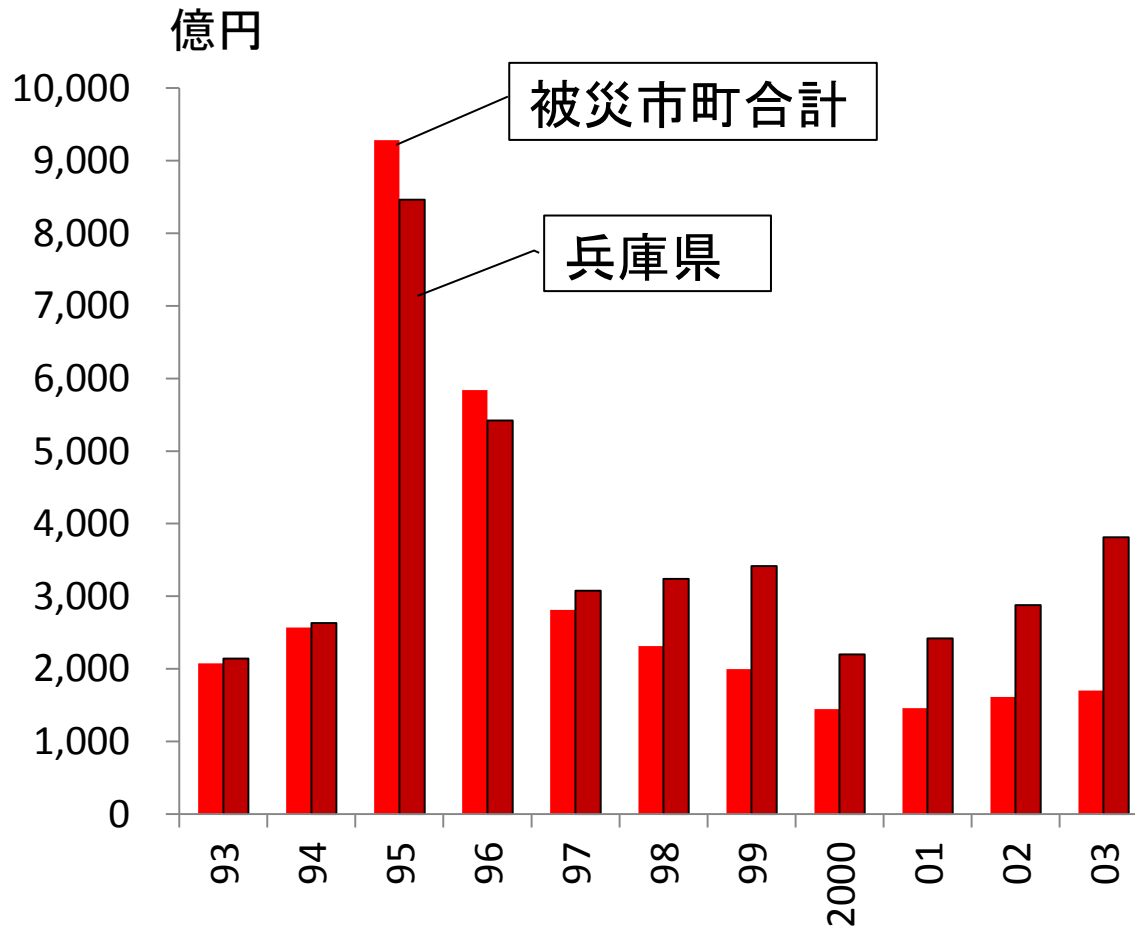
ポスト阪神・淡路の人口動態



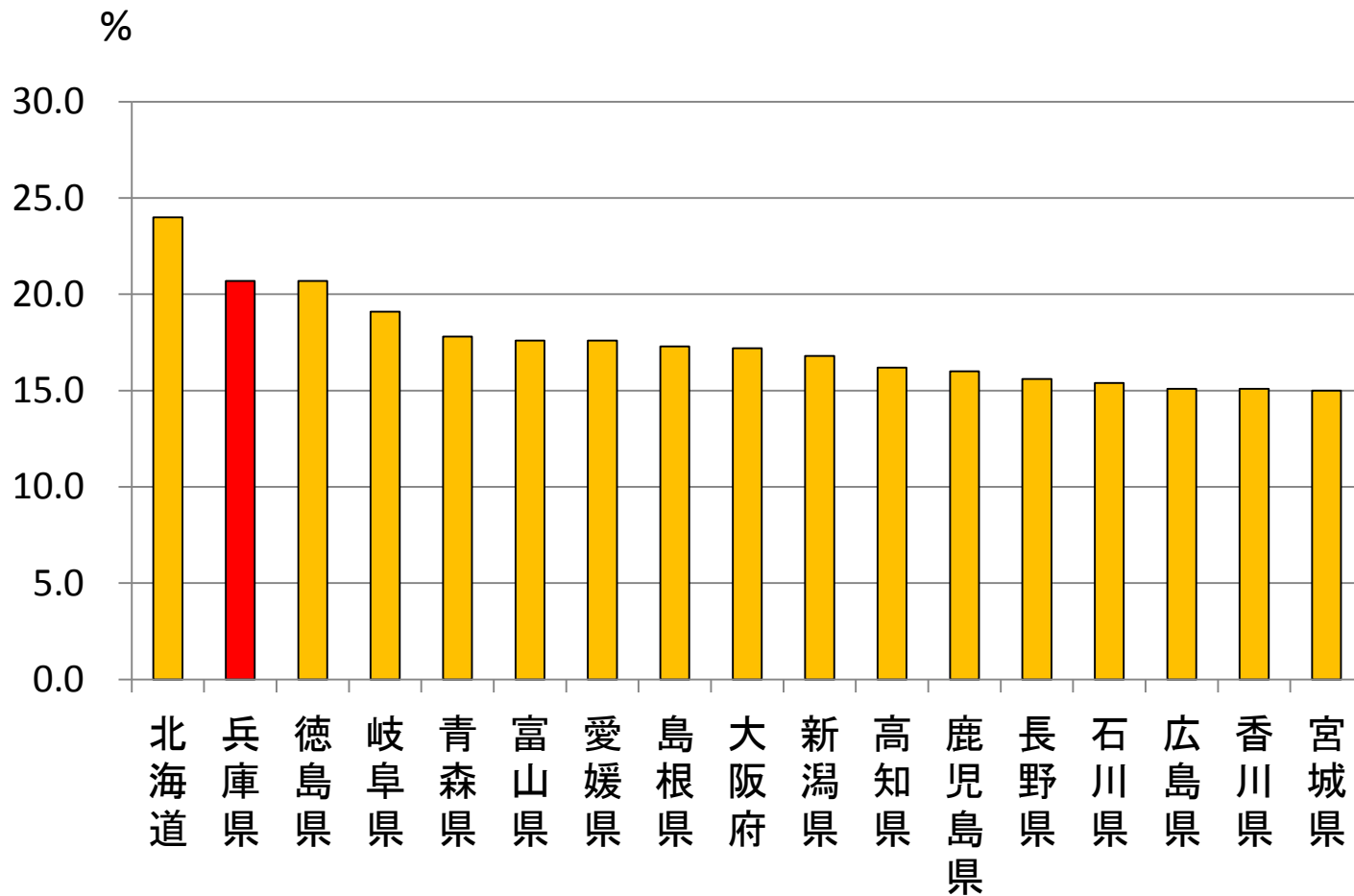
ポスト阪神・淡路の失業率



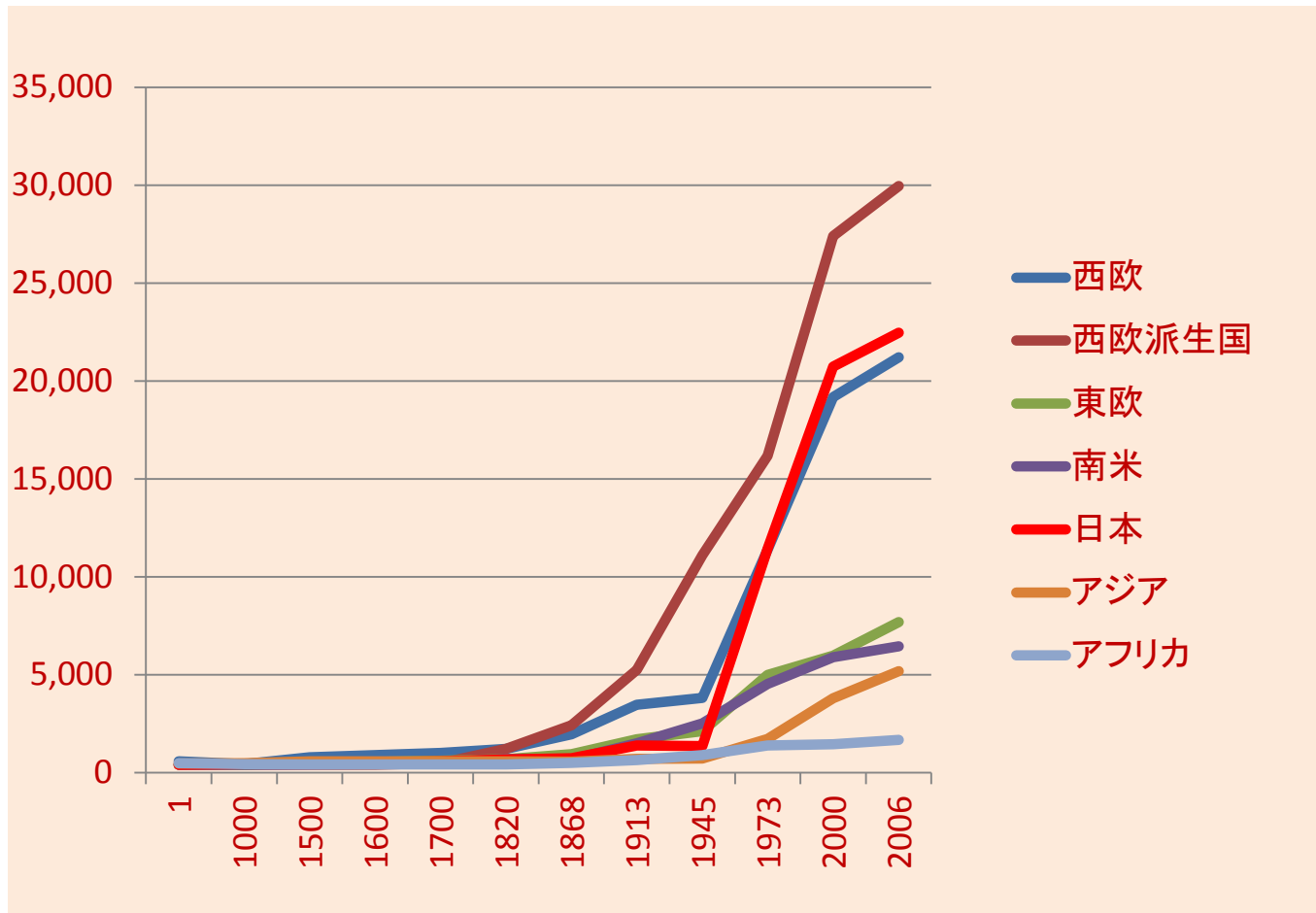
ポスト阪神・淡路の自治体起債額



実質公債費比率15%以上の道府県 2009年度

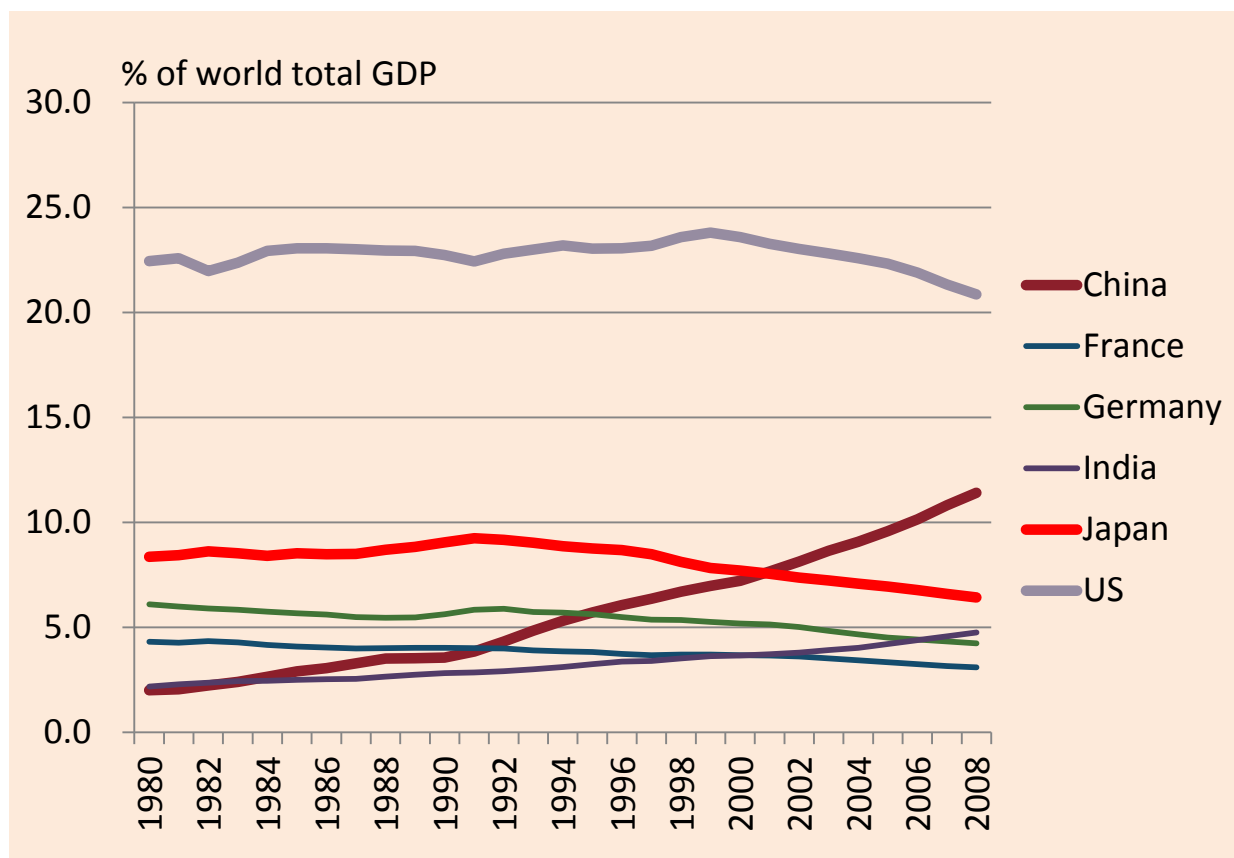


一人当たりGDPの成長



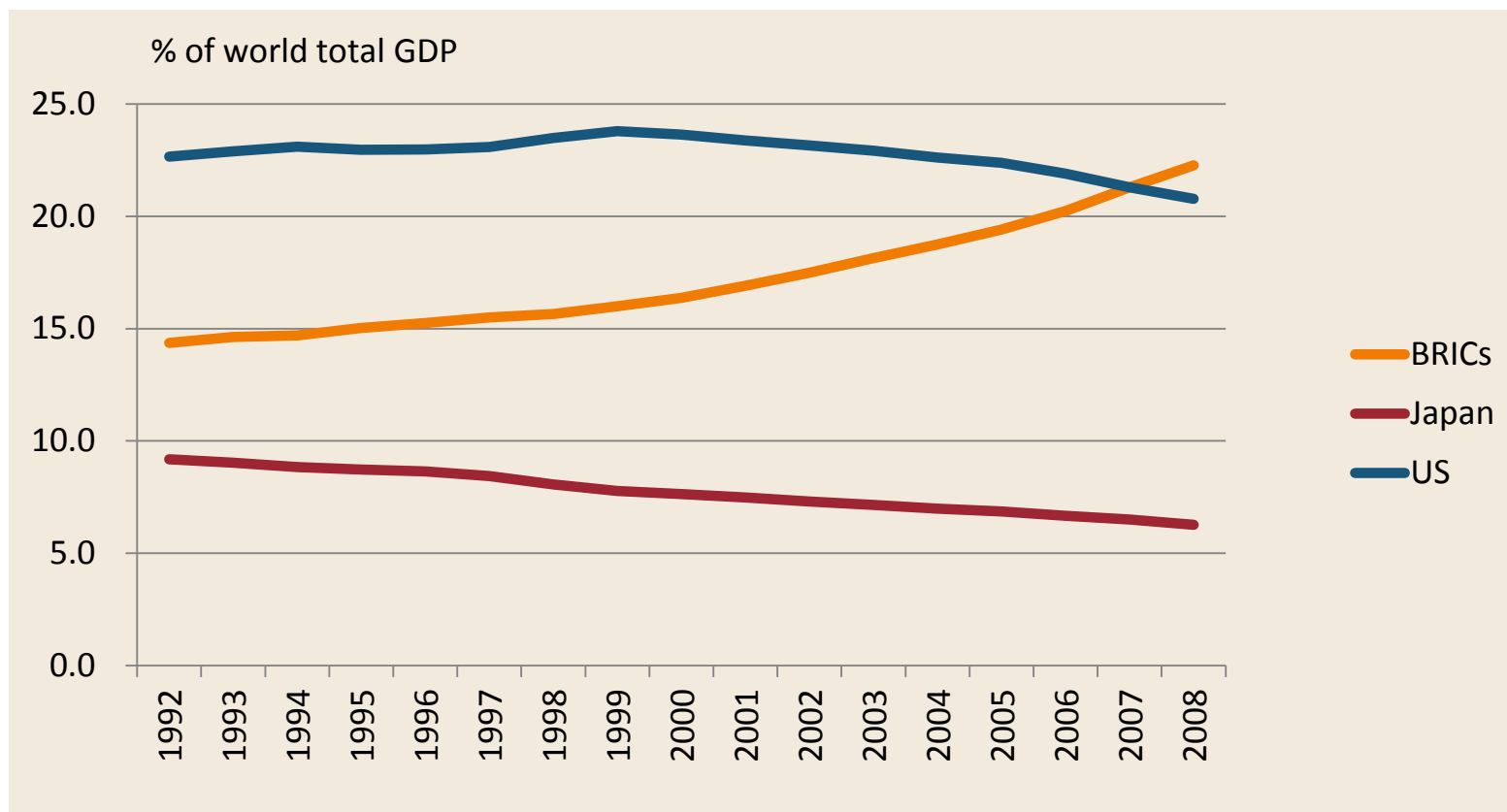
Data: Angus Maddison, 2008

2001年以來もはや第2位のGDP大国ではない (PPP換算)



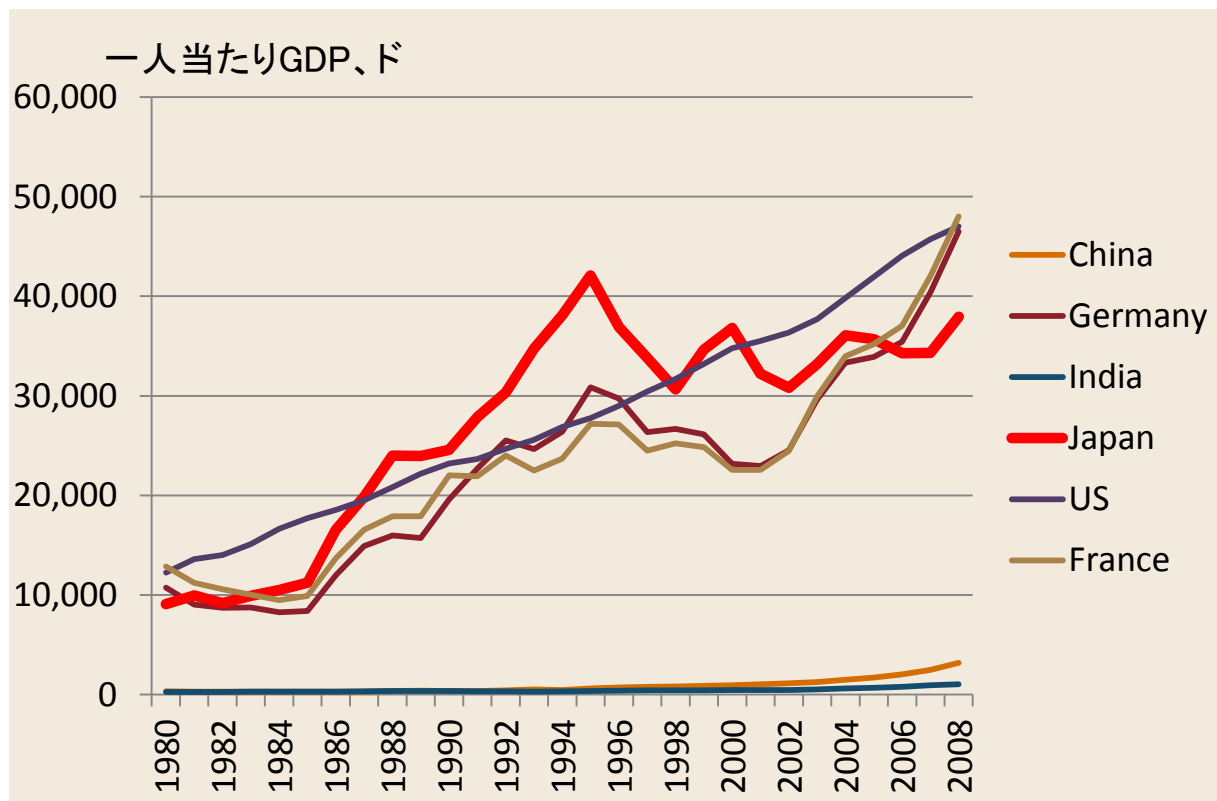
データ: IMF, World Economic Outlook Database

BRICSの台頭 (PPP換算)



データ: IMF, World Economic Outlook Database

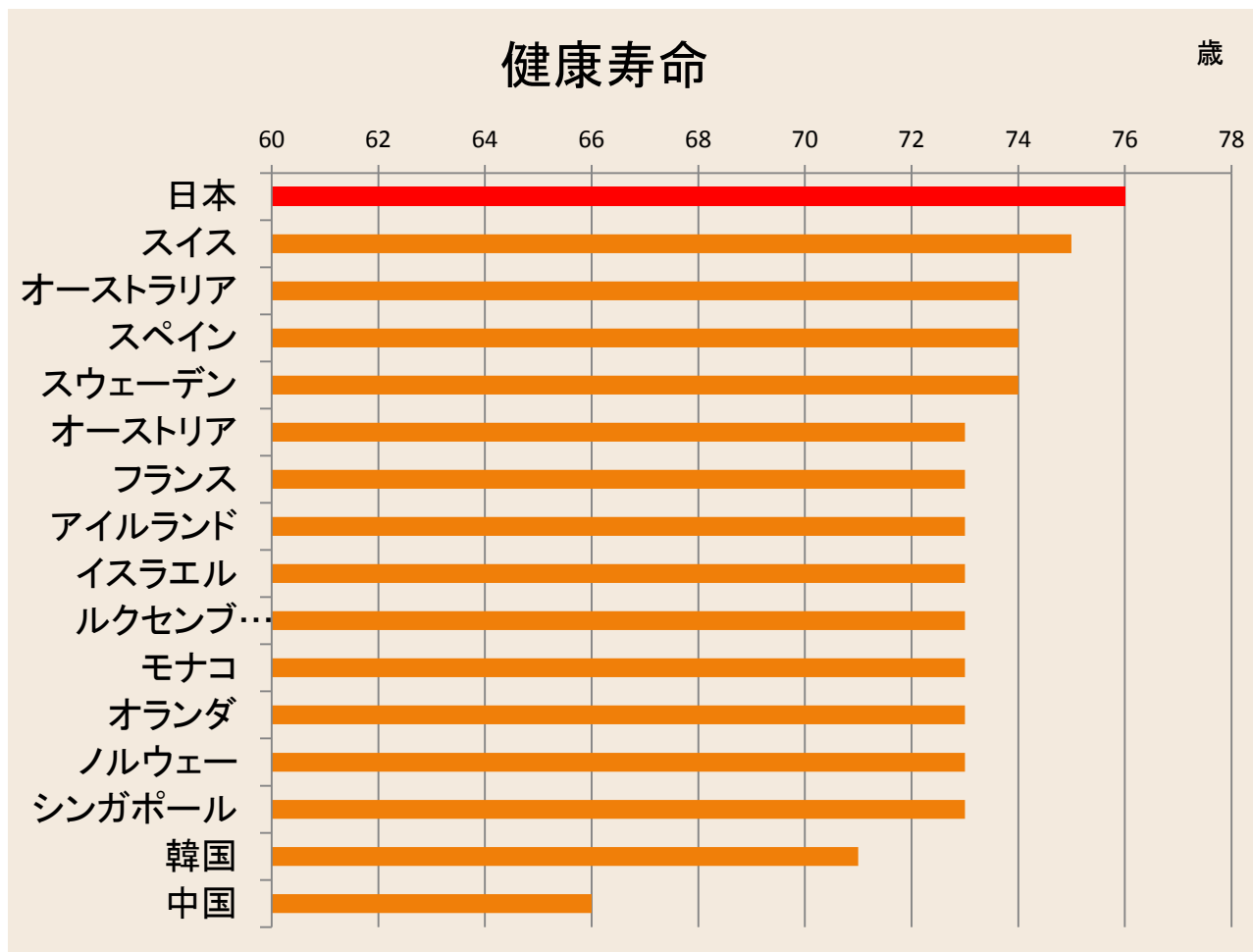
しかし、為替レート換算による国際比較では、日本は依然として高所得国（為替レート換算）



データ: IMF, World Economic Outlook Database

2. 世界の中の日本

日本は世界の最長命国



データ: WHO, World Health Statistics 2010

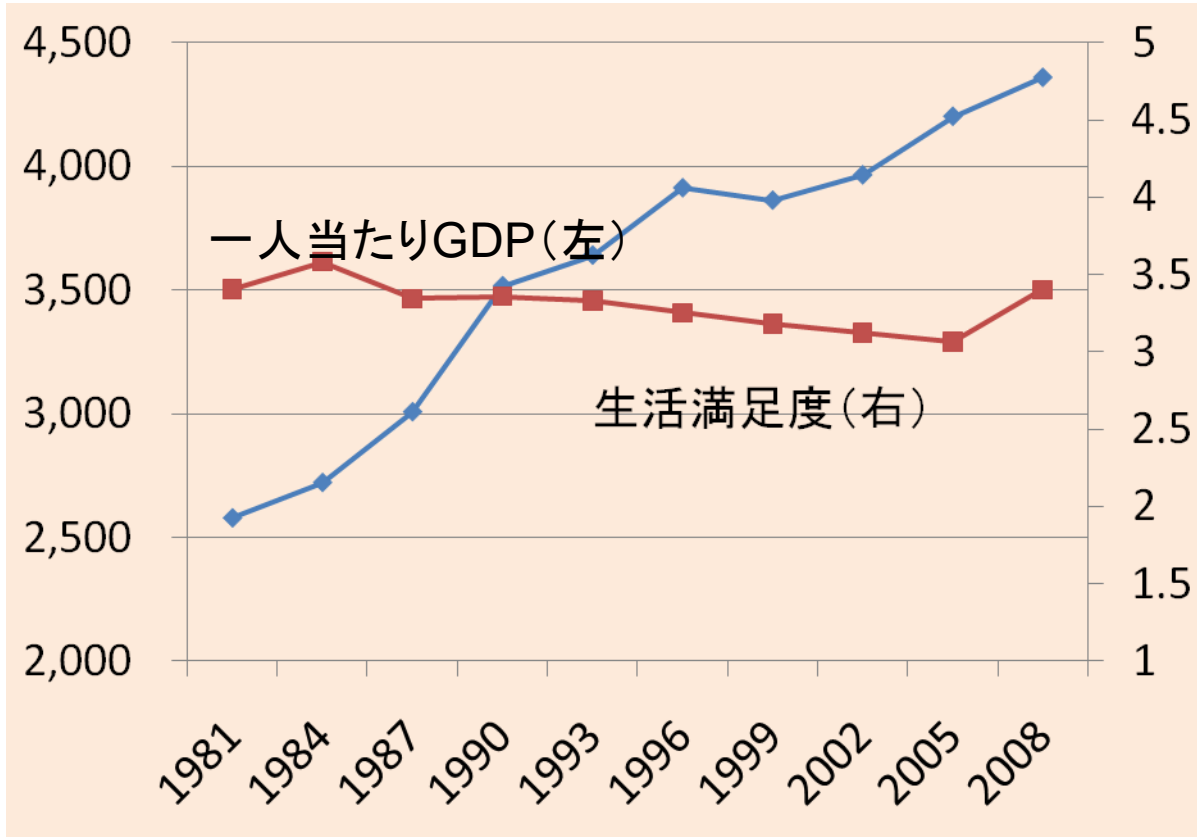
国連開発指数ランク

| ランク | 1980年 | 1990年 | 2000年 | 2007年 |
|-----|--------|--------|---------|---------|
| 1 | ノルウェー | カナダ | ノルウェー | ノルウェー |
| 2 | スイス | ノルウェー | オーストラリア | オーストラリア |
| 3 | アメリカ | アメリカ | スウェーデン | アイスランド |
| 4 | カナダ | スイス | オランダ | カナダ |
| 5 | オランダ | 日本 | アメリカ | アイルランド |
| 6 | 日本 | オランダ | カナダ | オランダ |
| 7 | アイスランド | アイスランド | スイス | スウェーデン |
| 8 | スウェーデン | フランス | ベルギー | フランス |
| 9 | デンマーク | スウェーデン | アイスランド | スイス |
| 10 | フランス | フィンランド | 日本 | 日本 |

ニューズウィークのランキング

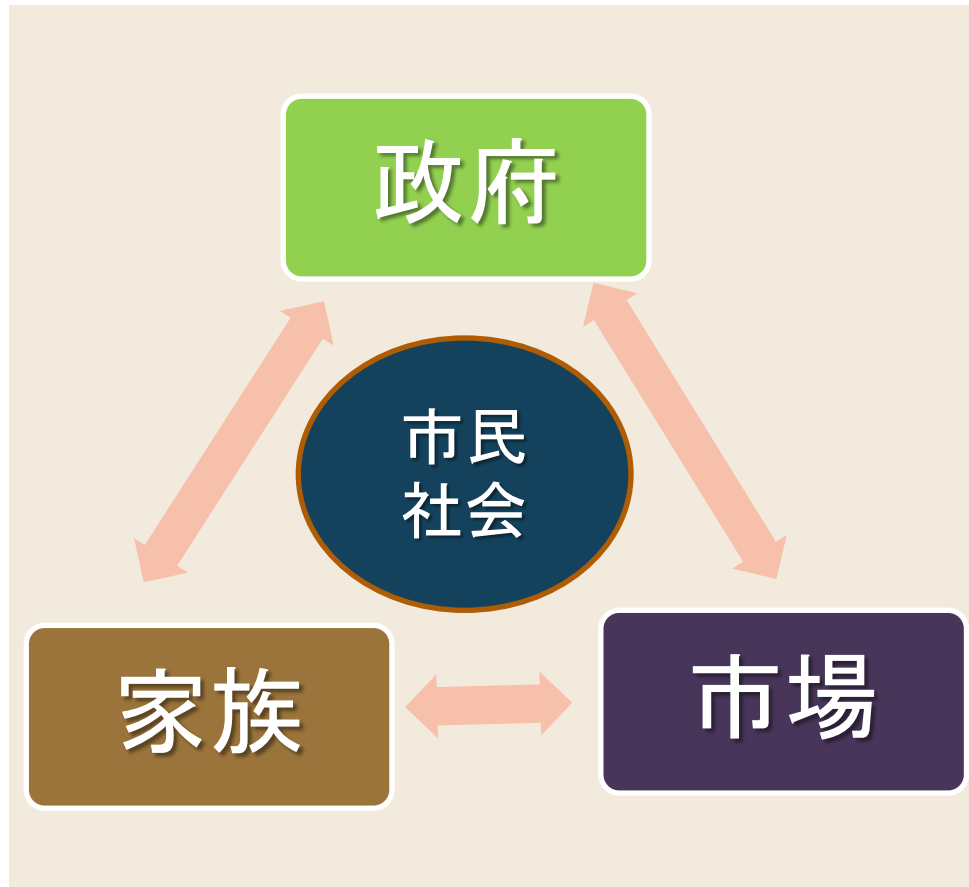
| ランク | 総合 | 経済活力 | 生活の質 (大国) | 教育 | 医療 | 総合(大国) |
|-----|---------|---------|--------------|--------|----------|--------|
| 1 | フィンランド | シンガポール | ドイツ | フィンランド | 日本 | 日本 |
| 2 | スイス | アメリカ | アメリカ | 韓国 | スイス | アメリカ |
| 3 | スウェーデン | 韓国 | フランス | カナダ | スウェーデン | ドイツ |
| 4 | オーストラリア | イギリス | 日本 | シンガポール | スペイン | イギリス |
| 5 | ルクセンブルク | スウェーデン | イギリス | 日本 | イタリア | フランス |
| 6 | ノルウェー | オーストラリア | イタリア | スイス | オーストラリア | イタリア |
| 7 | カナダ | スイス | ロシア | エストニア | シンガポール | メキシコ |
| 8 | オランダ | フィンランド | メキシコ | イギリス | ノルウェー | ブラジル |
| 9 | 日本 | ルクセンブルク | タイ | アイルランド | ニュージーランド | ロシア |
| 10 | デンマーク | 日本 | トルコ | オランダ | オランダ | トルコ |

イースタリンのパラドックス



内閣府「国民生活選好度調査」

成長経済の社会構造



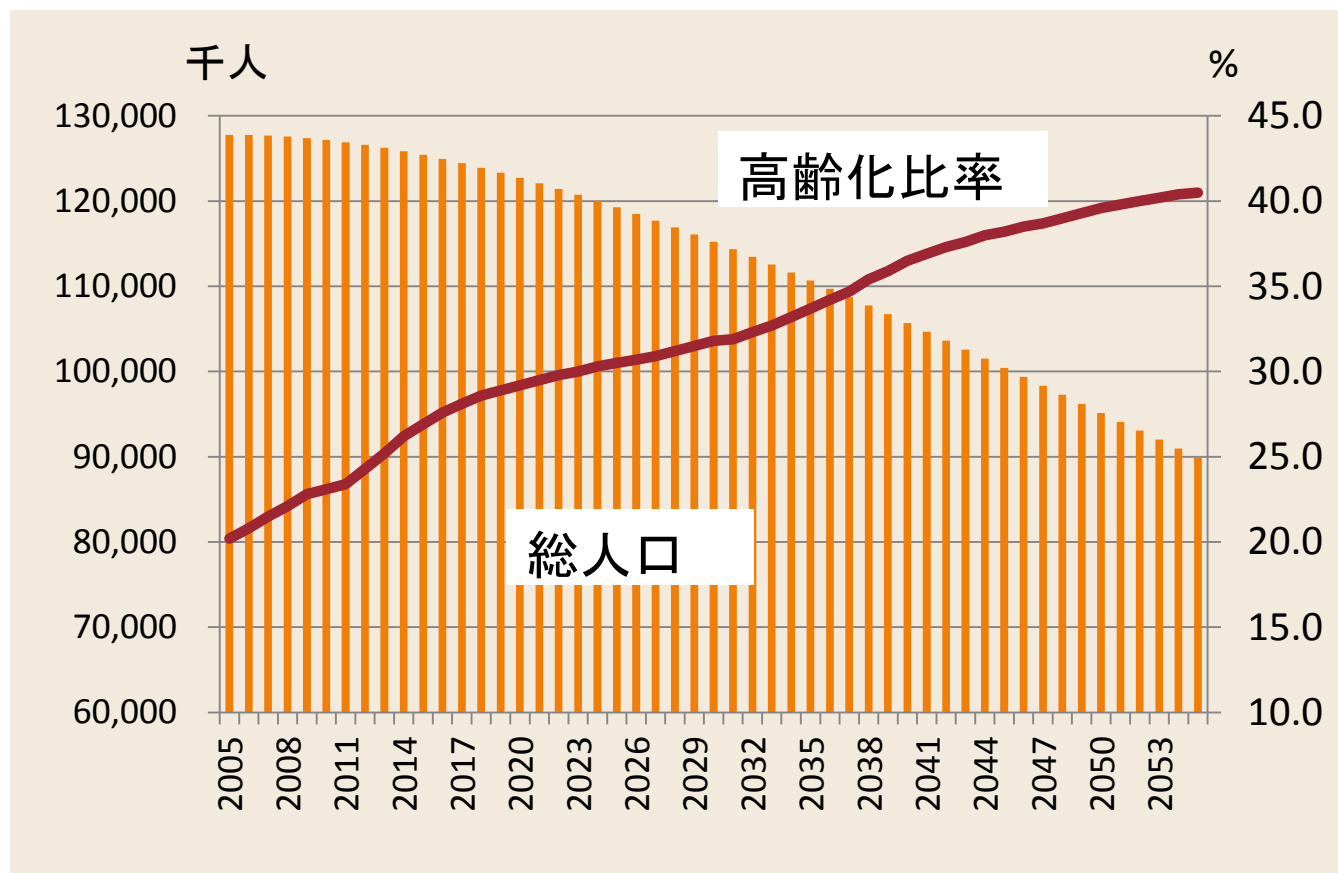
- 開発主義
- 保守政治
- 吉田ドクトリン
- 中産階級
- 家族の変容
- 都市化
- ポップカルチャー
- 準覇権国

$$\ln(\text{一人当たりGDP}) = a + b * \ln(\text{人口})$$

| 国・地域 | 観測データ数 | R ² | b |
|-------|--------|----------------|------|
| 西欧 | 144 | 0.68 | 1.63 |
| 西欧派生国 | 147 | 0.89 | 0.86 |
| 南アメリカ | 109 | 0.99 | 0.79 |
| 東アジア | 63 | 0.92 | 1.56 |
| 日本 | 145 | 0.76 | 1.80 |
| ドイツ | 166 | 0.64 | 1.54 |
| イギリス | 185 | 0.68 | 1.24 |

Angus Madissonのデータにより林が計算。

高齢・人口減社会の到来



データ: 国立社会保障・人口問題研究所

人口オーナスへの対応

- 日本の人口が2055年までに30%減少すれば、一人当たりGDPは $30 \times 1.8 = 54\%$ 減少すると予測される。
- 一人当たりGDPが現在の半分だったのは、1974年。「三丁目の夕日」の世界へ回帰するか。
- この人口オーナス問題の解決の鍵は、東日本の復興にある。

社会的インパクト

- 集住と疎住の分化、コミュニティの消滅も
- 土地利用形態の変化
- 家族のさらなる変容、大家族への回帰も
- 中産階層の分化
- 価値観の分化
- 文化の保守化

国際的インパクト

- 政治的パワーとしての発言力の低下
- ガリバーとリリパット王国のアジア
- 環境・エネルギー・水資源・健康・高齢者福祉・社会保障などの面で日本は教師か反面教師か

政治的インパクト

- 世代間の政治的対立が激化
- 子どもにも一票を、親が行使
- 都市と郡部の政治的対立が激化
- 変化に対応できるのは政党か市民社会団体か
- 農村型保守政党の終焉

移民受入れ解禁は解決策か

- 日本は「移民法」を持たない。
- 日本は「全ての移住労働者及びその家族の権利の保護に関する国際条約 (United Nations Convention on the Protection of the Rights of All Migrant Workers and Members of Their Families)」に署名も批准もしていない。
- 実現できたとしても、移民家族は急速に日本化(少子・高齢化)する。
- 100年間継続的に移民を受け入れれば、100年後に日本人のDNAは消滅する？
- 万能薬ではない、副作用も大きい、必要か。

少子化対策は有効か

- フランス、スウェーデンが少子化対策に成功したと言われるが、これらの国では20世紀の間一度も人口減少を経験していない。
- 日本のように平時に長期にわたって人口減少を経験する国は世界史上初めて。
- フランスでは生まれる子供の51%が婚外子。日本の社会(家族観、「私生児」)や民法(非嫡出子)がそれを許容するには50年以上かかる。

価値観の転換は希望を生むか

- 量的成長から質的充実へ
- GDPからGross Domestic Happinessへ
- 狭いながらも楽しいわが家、ボロは着てても心の錦、金持ちが天国へ行くのはラクダが針の穴を通るより難しい。
- ある程度の成長、新陳代謝、新たな挑戦、躍動する社会にこそ希望は生まれる。

新たな可能性

- 一人当たり面積の拡大
- 現在のイギリス、ドイツと同じ人口密度に
- 明治維新は3300万人の人口で成し遂げた
- 人間の価値が上昇（経済開発主義から人間開発主義へ）

必要となる二正面作戦

1. 超国籍経済の拡大

- グローバル・バリュー・チェーンへの参加
- 超国籍起業によるGGPの計測
- 超国籍経済と国内経済とのリンク

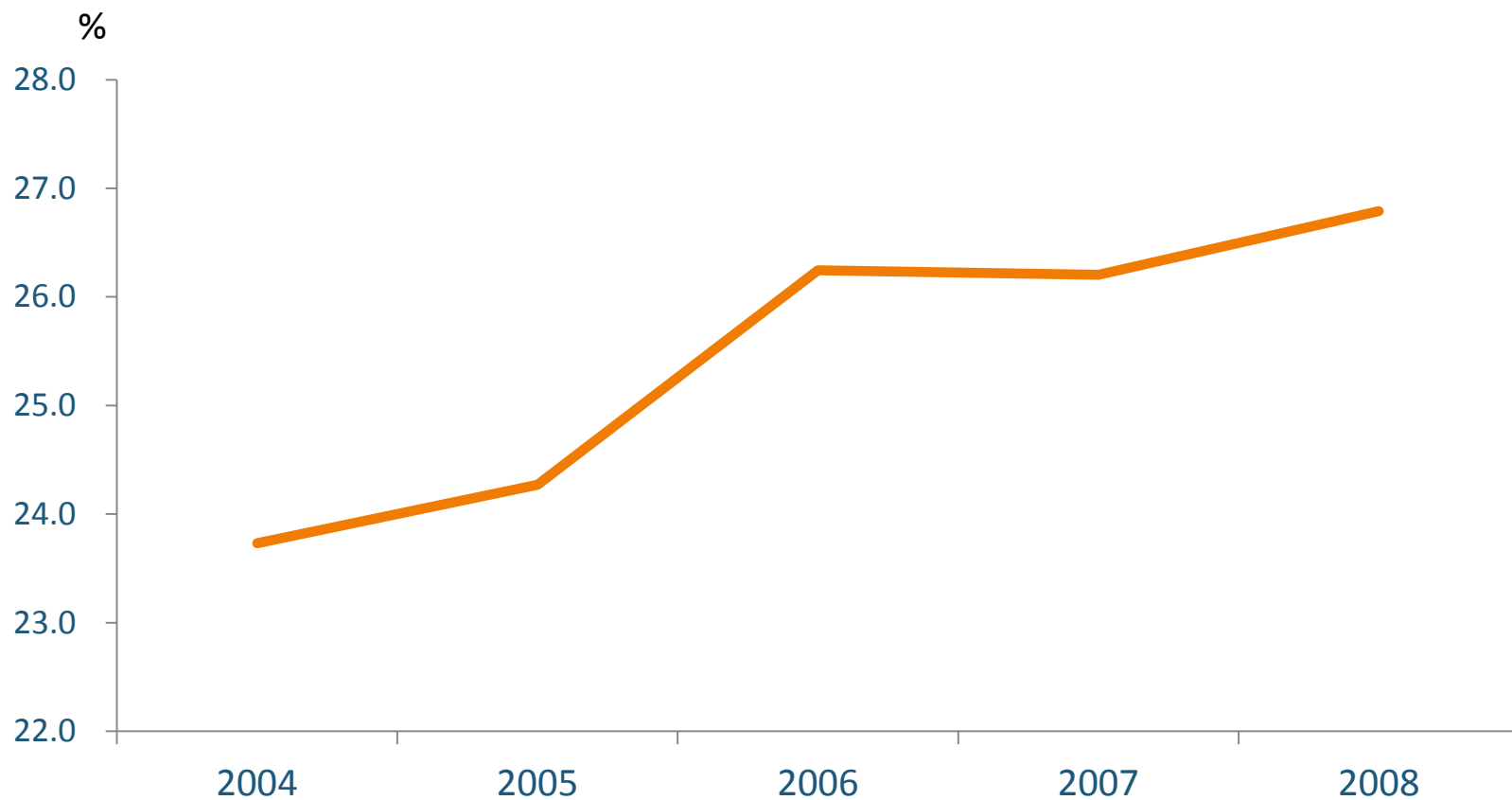
2. ウェルビーイング社会の確立

- 高齢化に対応した日本型福祉経済
- エネルギー、農産物、福祉サービス、土着文化資源の「地産地消」

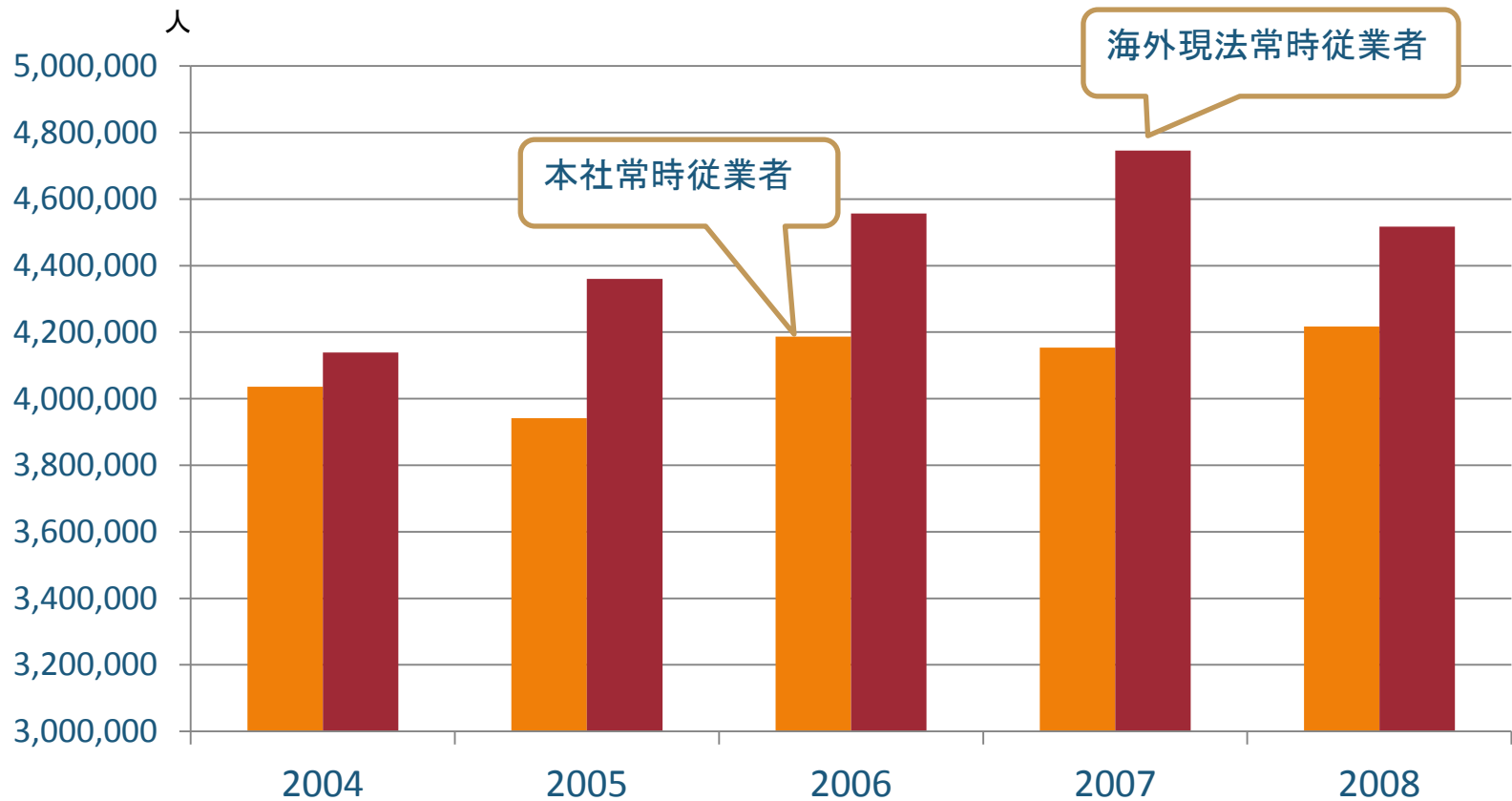
企業の海外進出

- 海外に現地法人を持つ日本企業は14,461社(08年)。上場会社の6倍。
- 05年以降、所得収支黒字が貿易収支黒字を上回って拡大中。
- 海外進出企業は国内雇用も増加させる傾向がある。

海外進出企業の本社売上高が 日本の全産業売上高に占める比率



海外進出企業の従業員

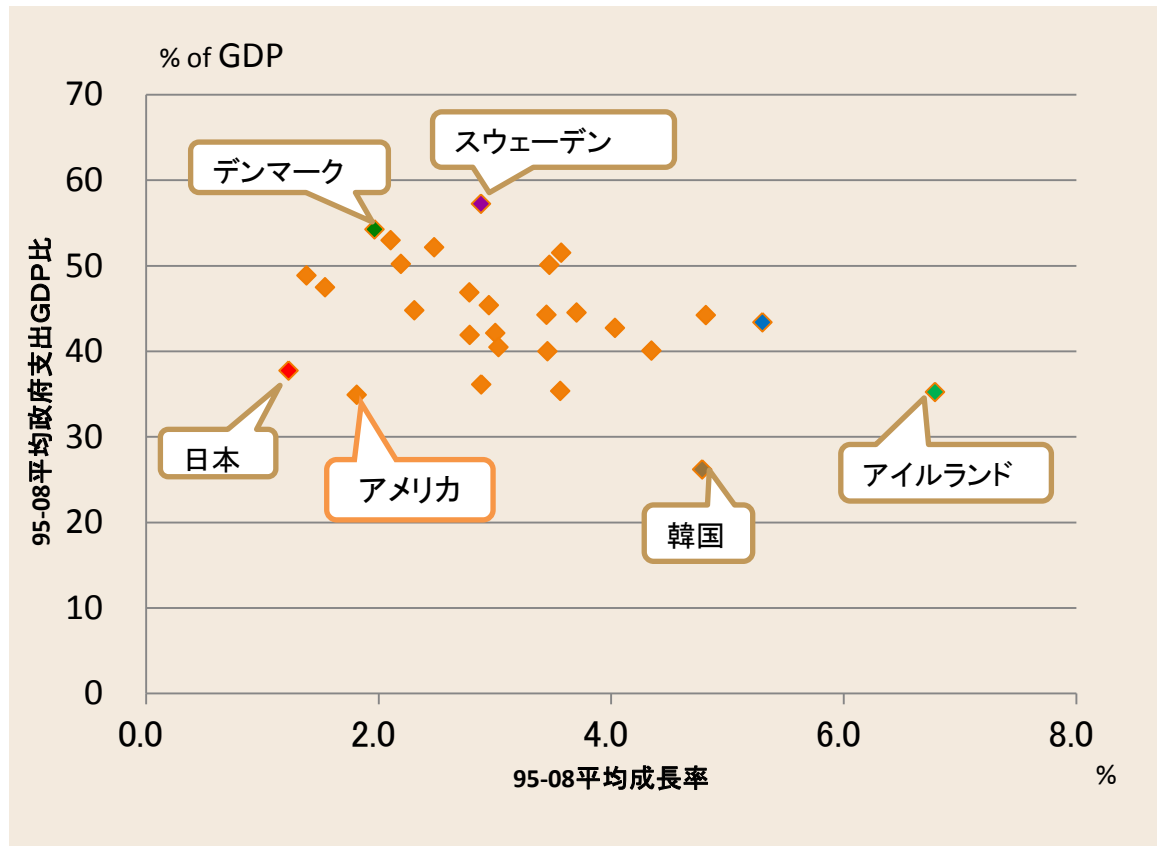


データ: 海外事業活動基本調査

ウェルビーイング社会へ向けて

- 社会保障関連支出を個人も企業も負担と考えないシステムが必要
- 西欧並の公的な社会的支出が必要
- もうすこし大きな政府を受け入れる必要
- 健康・福祉分野の規制緩和が必要
- リッチな個人への気配りも必要

政府の規模と経済成長



データ: OECD, *Economic Outlook*

東日本大震災からの復興に向けて

- 復興とは新しい地域を作る終わりのない歴史の始まり
- グリーン・リカバリーを
- 人口減少時代の社会づくりを
 - 持続する日本型のまちづくり
 - つながりの再生
 - 人的資産の回復を
 - 空間を生かした地域の創造
- 世界・アジアの成長とのつながりを
- 国会の福島移転を

参考文献

- 林敏彦「経済教室 超国籍化で日本経済強く」『日本経済新聞』2010年8月30日
- Toshihiko Hayashi, *Political Economy of Japan*, Hosodaigaku Kyoiku Shinkokai, September, 2010
- 林敏彦「人口オーナスの時代に求められる成長戦略」『週刊エコノミスト』2010年11月23日号
- 林敏彦『大災害の経済学』PHP新書、2011年8月11日